



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,456	△4.7	72	546.0	60	—	46	△51.2
28年3月期第2四半期	2,577	2.3	11	—	3	94.5	95	104.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 43百万円(△26.2%) 28年3月期第2四半期 59百万円(△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	3.85	—
28年3月期第2四半期	7.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,278	1,089	20.0
28年3月期	5,012	1,104	21.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,056百万円 28年3月期 1,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	1.00	1.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,120	△1.8	125	48.8	100	44.9	80	△46.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	12,317,000株	28年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	548,928株	28年3月期	48,928株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	12,101,406株	28年3月期2Q	12,268,277株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策により、企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国をはじめ新興国の経済の減速や英国のEU離脱等による急激な円高進行により、景気の先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、第2四半期累計期間における新設住宅着工戸数が500千戸(前年同四半期比6%増)と利用関係区分で特に、貸家・一戸建て住宅が高い伸びを示しており、釘の需要環境は概ね良好に推移いたしました。また、電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向において需要家の中国での現地調達化が定着し、国内需要は低調であり、価格競争が厳しく事業環境は依然厳しい状況が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,456百万円と前年同四半期と比べ120百万円(4.7%減)の減収となりました。その内訳は、建設・梱包向は38百万円減(1.9%減)、電気・輸送機器向は82百万円減(15.2%減)であります。営業利益は、売上高は減収であったものの、資材価格の安定と生産性の向上による製造単価の値下がり及び製造コストの低減効果等により72百万円(前年同四半期11百万円)となり、経常利益は60百万円(前年同四半期3百万円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として固定資産除却損4百万円を計上し、法人税、住民税及び事業税が8百万円であったこと等により46百万円(前年同四半期95百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、新設住宅着工は木造の賃貸・一戸建て住宅を中心に伸びを示しておりますが、当社においては、為替の影響もあり、輸入商品の一部品種において販価が下がり、価格競争が激しくなる中、釘の需要は伸び悩みました。利益面では資材価格の安定に加え、生産性の向上による製造単価の値下がりや製造コストの低減効果により、改善いたしました。この結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比1.9%減の1,998百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ58百万円増の161百万円となりました。

#### (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向及びゲーム機器向の中国での現地調達化が定着し、国内での需要は低調であります。需要の落ち込みに対して、4月より休業による生産調整を実施したため、労務費を含む製造コストが低減された結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比15.2%減の458百万円となり、セグメント利益は5百万円(前年同四半期0百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,278百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比266百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ297百万円増加し3,182百万円となりました。これは主に現金及び預金が215百万円、受取手形及び売掛金が42百万円、また商品及び製品が24百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ30百万円減少し2,096百万円となりました。これは、新規設備投資50百万円に対して、減価償却費が80百万円であり、投資有価証券が第2四半期連結会計期間末の一部銘柄の株価が下落したことにより3百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前年度末に比べ280百万円増加し4,188百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ10百万円減少し2,658百万円となりました。固定負債は、前年度末に比べ291百万円増加しました。これは、長期借入金が前年度末に比べ277百万円増加したこと等によるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,893百万円(前年度末比291百万円増)となりました。これは、長期借入金の返済560百万円に対して、長期資金の借入れを811百万円実行したことによるものであります。長期借入金の増加は、年度資金を前倒して調達したことと、一部の短期借入金を長転したことによるものであります。

## (純資産)

第2四半期連結会計期間末の純資産は、1,089百万円となり、前年度末に比べ14百万円減少しました。これは、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が46百万円であるのに対して、配当金の支払いが12百万円、自己株式の取得を46百万円行ったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の21.4%から20.0%となり、1株当たり純資産額は87.32円から89.81円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月29日に発表しました平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想は、平成28年11月2日に修正いたしました。また、平成28年5月12日に発表しました平成29年3月期通期連結業績予想は、売上高は電気・輸送機器向(連結子会社)において、ネジの中国での現地調達化の定着により、国内需要は低調であるため、前回予想を下回る見込みであります。利益面では、建設・梱包向(個別)が需要の持ち直しに加え、増産に伴う生産性の向上による製造単価の低下と製造コスト及び借入金利率の低減効果により、増益が見込まれるため、平成28年11月2日に修正をいたしました。なお、業績に影響を与える事象が発生いたしましたら、適宜お知らせいたします。

第3四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

平成28年度の新設住宅着工戸数は、前年度の93万戸を上回る見込みであります。特に、当社の主要な利用関係区分である持家、貸家及び一戸建て等の木造住宅の着工は底堅いものがあり、平成28年内の住宅着工戸数は、前年を上回る見込みであります。当社の釘の需要は、第3四半期連結会計期間以降は、前年度並かそれ以上を見込んでおり、利益面でも、資材価格は安定的であり、増産に伴う生産性の向上による製造単価の値下がり及び製造コストの低減効果等により、一定の利益が確保できるものと考えております。しかしながら、円高による輸入商品の仕入価格の値下がりによる販売価格への影響が考えられ、価格の維持に努めてまいります。今後とも物流コストをはじめとする経費削減に取り組み、輸入商品の仕入コストの低減に努め、当社の特許品である「木割れ最強釘」及び輸入商品等の拡販と新製品開発に取り組んでまいります。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向け及びゲーム機器の海外での現地調達化の動きが定着し、国内での需要は依然低迷しております。そのような中、主に輸送機器向に導入した多段冷間圧造設備による高付加価値製品の量産体制への取り組みが必要となり、当該設備の本格稼働による生産性の向上と売上げの拡大を図ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	460,965	676,445
受取手形及び売掛金	1,276,579	1,318,680
商品及び製品	755,526	780,061
仕掛品	194,371	207,016
原材料及び貯蔵品	166,808	169,358
前払費用	13,943	9,874
繰延税金資産	13,818	13,998
その他	5,905	10,560
貸倒引当金	△3,125	△3,688
流動資産合計	2,884,793	3,182,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	517,630	505,251
機械装置及び運搬具（純額）	596,283	582,091
土地	733,542	733,542
その他（純額）	61,419	50,785
有形固定資産合計	1,908,876	1,871,671
無形固定資産		
ソフトウェア	22,827	24,057
その他	3,383	1,691
無形固定資産合計	26,211	25,749
投資その他の資産		
投資有価証券	119,218	115,523
長期前払費用	120	5,686
その他	95,789	91,050
貸倒引当金	△22,903	△13,340
投資その他の資産合計	192,225	198,920
固定資産合計	2,127,312	2,096,341
資産合計	5,012,105	5,278,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	813,331	806,456
短期借入金	1,582,442	1,596,630
未払法人税等	17,479	13,158
未払消費税等	28,428	24,871
未払費用	49,657	53,377
賞与引当金	49,113	43,077
その他	129,040	121,406
流動負債合計	2,669,491	2,658,977
固定負債		
長期借入金	1,019,671	1,296,889
繰延税金負債	8,019	7,682
役員退職慰労引当金	23,528	29,628
退職給付に係る負債	183,632	192,068
資産除去債務	3,461	3,470
固定負債合計	1,238,312	1,529,739
負債合計	3,907,803	4,188,716
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	404,551	438,872
自己株式	△3,058	△49,058
株主資本合計	1,056,891	1,045,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,350	11,627
その他の包括利益累計額合計	14,350	11,627
非支配株主持分	33,060	33,092
純資産合計	1,104,301	1,089,931
負債純資産合計	5,012,105	5,278,648

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,577,294	2,456,425
売上原価	2,148,808	1,970,726
売上総利益	428,485	485,699
販売費及び一般管理費	417,309	413,498
営業利益	11,176	72,200
営業外収益		
受取利息	34	18
受取配当金	1,601	699
受取賃貸料	1,195	300
保険解約返戻金	2,904	—
その他	5,001	3,592
営業外収益合計	10,737	4,610
営業外費用		
支払利息	14,190	12,426
その他	4,200	4,088
営業外費用合計	18,390	16,514
経常利益	3,522	60,295
特別利益		
固定資産売却益	101,381	13
特別利益合計	101,381	13
特別損失		
固定資産除却損	3,637	4,913
特別損失合計	3,637	4,913
税金等調整前四半期純利益	101,267	55,395
法人税、住民税及び事業税	5,581	8,406
法人税等調整額	945	367
法人税等合計	6,526	8,774
四半期純利益	94,740	46,621
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△818	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,558	46,588

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	94,740	46,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,232	△2,723
その他の包括利益合計	△35,232	△2,723
四半期包括利益	59,508	43,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,326	43,865
非支配株主に係る四半期包括利益	△818	32

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	101,267	55,395
減価償却費	80,313	80,428
貸倒引当金の増減額(△は減少)	264	△9,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,093	△6,036
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,450	8,435
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,201	6,100
受取利息及び受取配当金	△1,635	△717
支払利息	14,190	12,426
固定資産除却損	3,637	4,913
固定資産売却損益(△は益)	△101,381	△13
売上債権の増減額(△は増加)	△52,637	△42,100
たな卸資産の増減額(△は増加)	△79,418	△39,728
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,227	△6,874
その他	1,100	6,802
小計	△45,782	70,031
利息及び配当金の受取額	1,635	717
利息の支払額	△14,346	△11,186
法人税等の支払額	△4,103	△17,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,596	41,884
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△81,480	△46,555
有形固定資産の売却による収入	228,600	1,450
無形固定資産の取得による支出	△4,480	△5,000
その他	△30,671	△9,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	111,968	△59,542
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	233,600	210,000
短期借入金の返済による支出	△184,000	△170,000
長期借入れによる収入	380,000	811,500
長期借入金の返済による支出	△366,347	△560,094
自己株式の取得による支出	△36	△46,000
配当金の支払額	—	△12,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,216	233,137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	112,588	215,480
現金及び現金同等物の期首残高	457,591	460,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	570,179	676,445

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月2日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が46,000千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が49,058千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,036,901	540,392	2,577,294	—	2,577,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	2,056	2,075	△2,075	—
計	2,036,920	542,448	2,579,369	△2,075	2,577,294
セグメント利益又は損失(△)	103,778	△271	103,507	△92,330	11,176

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,507
セグメント間取引消去	△27
全社費用(注)	△92,302
四半期連結損益計算書の営業利益	11,176

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,998,415	458,010	2,456,425	—	2,456,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	853	4,275	5,128	△5,128	—
計	1,999,268	462,285	2,461,554	△5,128	2,456,425
セグメント利益	162,130	5,765	167,895	△95,695	72,200

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,895
セグメント間取引消去	△179
全社費用(注)	△95,515
四半期連結損益計算書の営業利益	72,200

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,616,346	△6.2
電気・輸送機器向	380,311	△23.2
合計	1,996,658	△10.0

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,022,097	△1.9	344,146	△0.0
電気・輸送機器向	424,667	△21.1	74,438	△15.2
合計	2,446,764	△5.8	418,584	△3.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,998,415	△1.9
電気・輸送機器向	458,010	△15.2
合計	2,456,425	△4.7

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	539,608	20.9	569,178	23.1

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。